

3月 10-16 日

## 格言 4 章

36 番の歌と祈り | 開会の言葉（1分）田中 慶一 | 米山 英行

### 神の言葉の宝



敵の接近に気付いた見張りと門番が、都市を守るために素早く行動している。

#### 1. 「あなたの心を守れ」（10分）浮田 蒼

「心」とは人の内面のこと。（詩 51:6。塔研 19.01 15 ページ 4 節）

ほかの何よりも心を守ることは大切。（格 4:23 前半。塔研 19.01 17 ページ 10-11 節, 18 ページ 14 節。絵を参照。）

私たちの命は心の状態に懸かっている。（格 4:23 後半。塔 12 5/1 32 ページ 2 節）



#### 2. 宝石を探し出す（10分）阿部 直生

格 4:18 しかし、正しい人たちの道は夜明けの光のようだ。真昼になるまで明るさを増していく。

この言葉はクリスチヤンとしての成長にどのように当てはまるか。

(塔研 21.08 8 ページ 4 節) 4 格言 4 章 18 節には、「正しい人たちの道は夜明けの光のようだ。真昼になるまで明るさを増していく」とあります。この聖句は、エホバがご自分に仕える人たちに対して、ご自分の目的を徐々に明らかにしていくことを示しています。しかし、さらに広い意味では、クリスチャンがエホバとの関係において成長していく様子にも当てはります。その成長には時間がかかります。一生懸命に学んで、聖書や組織からのアドバイスを当てはめるなら、キリストのような人格を徐々に身に着けることができます。神についてもっとよく知ることもできます。イエスはこの点を示すために、1つの例え話をしました。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

4:17 「悪事を命を支えるパン」とするような生き方をしている人々も実際に居て、私たちほどんな人にも聖書の福音を伝えるべきだと感じていても、全ての人が聞いてくれる訳ではないことも理解しなければならない。良い知らせを伝える良い動機であっても、物理的にも靈的にも害を受けないようにそれらの人々との接触に注意する必要も忘れないようにしたい。

3. 聖書朗読 (4 分) 格 4:1-18 (教励 第 12 課) 伊藤 勇一

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 萩原 幸子 愛込 1-5 田中 弘子

(3 分) 家から家で。家の人が記念式の招待状を受け取り、関心を示す。 (愛込 レッスン 1 ポイント 5)

5. 会話を始める 福永 悅子 愛込 2-3 長谷川 真穂

(4 分) 日常生活で。知人や友人を記念式に招待する。 (愛込 レッスン 2 ポイント 3)

6. 信じていることを説明する 小島 千晴 愛込 3-4 大坂 典子

(5 分) 実演。イ質記事 19 話題: エホバの証人はなぜイースターを祝わないのか。 (愛込 レッスン 3 ポイント 4)

クリスチャンとして生活する

16 番の歌

7. 3 月の「組織の活動の進展」 田中 慶一

(10 分) 動画を再生する。

8. 3 月 15 日土曜日に始まる記念式のキャンペーン 大谷 優志

(5 分) 奉仕監督による話。会衆のキャンペーン、特別講演、記念式の予定を伝える。3月と4月、いつもの伝道にプラスしてできることがないか考えるよう励ます。

9. 会衆の聖書研究 司会 :長谷川 瑛一 朗読 :有川 聖七

(30 分) 徹 23 章 16-19 節, 188 ページ囲み

---

閉会の言葉 (3 分) | 76 番の歌と祈り 大谷 正